富士市立高等学校 学校運営協議会

第32回

会議要旨(令和5年度)

開催日

会議場

令和5年10月23日 月曜日

開 会 14時00分

閉 会 16時30分

富士市立高等学校 2階 会議室

出席者

*敬称略

【学校運営協議会委員】

石黒 明 井上美千子 久米昭洋

小泉彩子 橋本 仁 畑 裕美 櫻井祥行

加藤 寧委員、塩田真吾委員、豊島実侑委員は所用のため欠席

【市立高校教員】

上野朋子 見城喜哉 中里 健 後藤大輝 小林雄一

佐野大悟 大森昭仁 藤原恵理子 望月佑輔 佐野 薫

【市立高校職員】

前田勝己 渡邉貴広 滝 陽介

開会

校長挨拶

- ・2 学期が始まり、始業式から、テスト、授業へと移る中で本校では資料の 5 ページにあるように各学科、各学年でそれぞれ探究研修を行っている。2 年生はこの後、本来なら海外へ探究研修へと行きたいが、今年も国内代替研修を行う予定である。
- ・今月初めには体育祭があり、スポーツ探究科 3 年生の生徒を中心に企画運営を行い、教員は一切、手を出さず、無事に終えることができた。
- ・探究学習について、授業の中で探究をどう落とし込むかが課題であり、講義調の授業をもう少し工 夫して、探究が学力に繋がるように模索している。
- ・本校では、地域交流課があり、色々な機関と連携して地域交流をしている。先日も未就学児を対象 として本校生徒と人工芝で遊ぶ企画を行った。他にも多世代サッカーや、ビジネス部が街のイベン トに参加したりしている。そのような活動を通してビジネス部の部員、ビジネス探究科の志願者が 増加するなど地道な活動の結果が出ている。

会長挨拶

- ・先月の究タイムに伺い、色々と発表を見させていただいた。生徒の発表を参観して、外部の方との 接触や、学校の中だけでは得られない学びがあったのではと感じた。プレゼンテーションの準備が 緻密になされ、文字にならないところでも勉強を深めている、そんなことをたくさん感じる発表だった。
- ・この後、授業参観もあるが、そんな学習の状況を含め、楽しみにしている。委員の皆様にも忌憚の

ないご意見をいただければと思う。

学校活動の近況

- ・8月2日に1日体験入学を実施し、総合探究科に238名、ビジネス探究科に105名、スポーツ探究 科に98名の441名が来校して体験授業を受けた。
- ・夏休み明けに集中研修を行った。宿泊を伴う研修は、総合探究科 1 年生が東京に宿泊して大学、企業の見学を、スポーツ探究科 2 年生が富士宮市内でキャンプを実施した。
- ・9月30日にオープンスクールがあり、午前中は公開授業、午後は探究学習発表会を行った。外部から中学生が39名、その保護者22名、本校保護者11名の72名が見学した。
- ・10月になり、校内でインフルエンザが流行し、2日間、4クラスについて学級閉鎖を行った。

部活動結果について

- ・陸上部がインターハイに出場し、スポーツ探究科の小針さんが女子 100m、200m、走り幅跳びに 出場し、女子 400mリレーにも出場した。愛媛県で行われたジュニアオリンピックカップでも小針 さんが 100mで 6 位、篠原柚葉さんが 100mハードルに出場した。
- ・チアリーダー部が USAJapan チアリーディングダンス学生新人大会で、8 位に入賞した。日本チアダンス選手権大会の関東大会で、高校編成 small 部門で 3 位になり全国大会の出場を決めた。
- ・新人戦は 5 種目の部活動で東海大会の出場権を得ている。静岡県商業科実務競技会では、電卓の部で団体 5 位だった。電卓の部個人、簿記の部個人で東海大会出場を決めている。
- ・吹奏楽部が県の吹奏楽コンクールで金賞だったが東海大会は残念ながら逃している。

授業参観 学校内を見学しながら、各授業を参観していただいた。

授業参観に関する質疑応答

(意見・質問等)	・会社でも研修を行うが、学校で PDCA のサイクルで回していくやり方を教えている
	のは素晴らしいことだと感じた。PTA の方でも学校をサポートできるようにやって
	いきたい。
(意見・質問等)	・それぞれの授業で探究のプロセスを回すことが授業の中で短いスパンできちんと出来
	上がっているのは素晴らしいというふうに感じた。地元企業とコラボするようなもの
	が広まっていくと更に良いものになっていくのではと感じた。
(意見・質問等)	・一人一台端末が定着してきている中で、授業でも端末を使いながら自分たちで調査、
	研究という実践を積まれており、このような取組が県内にも広まればと思う。
(意見・質問等)	・授業を見た時に生徒が堂々と調べたことを発表していた。パソコンも普通に操作でき
	ており、探究という授業をもっと広めた方が良い。
(意見・質問等)	・問を立てる、調べる、まとめる、発表する。これこそ探究で、自主的に楽しそうに自
	分が参加したいと思える授業をやっていることが素晴らしいと感じた。
(意見・質問等)	・寝ている子がほとんどいなくて良かった。課題解決に向けて各自取り組んでいる姿は
	この学校らしさが出ていて良いと思う。
(意見・質問等)	・保護者目線からすれば、授業でやっていることを保護者にアピールできるように授業

参観等、回数を増やしたら学校の良さが広まっていくのでは。 (意見・質問等) ・授業が非常に工夫されていて生徒の目線に立って、先生も努力されていることがわか った。中学校で探究をやってきている子もいればそうでない子もいるので、市立高校 で3年に渡って探究を学べることは生徒にとって大事だと思った。 ・素晴らしい授業をしていることを地域に広げるような取組みはあるか? (意見・質問等) (回答) ・今年度は、5月22日から一週間、学校開校週間を設け、その情報を保護者にCラー ニングで配信して伝えた。 (意見・質問等) ・例えば、配信の中で、究タイムを見てくださいというようなアピールをしても良いの では。探究の授業を見たいという保護者は多いと思う。 (意見・質問等) ・高校の授業参観は子どもから嫌がられたり結構、敷居が高い。保護者も行かない人が 多いかもしれないが、高校が子どもに関われる最後の時期なので、保護者の意識も変 えていくべき。来るのが当たり前という授業参観になってくれれば良い。 (意見・質問等) ・授業を見させていただいて素晴らしいと思ったが、教科をやりつつ探究もというのは 先生方の負担感というかそういう点はどうなのかなと。 (意見・質問等) ・転勤で初めて富士市立高校に赴任するなど、それぞれスタートが違う中で、意識の違 い等を含め、組織的に探究に関する質を良くする働きかけはあるのか。 (回答) ・探究をやっている学校に教員が研修に行ったり、探究の取組を、例えば、究タイムで あれば、週に 1 回、会議の時間を設けており、そこで共有したり、新たな意見を出 している。究タイムや学年での取組が教科でも行われたり、例えば、地歴公民科では、 探究のサイクルを意識した授業を展開し、作成した教材等も共有している。 (意見・質問等) ・組織マネジメントの肝としてグッドパフォーマンスを共有するということがあるが、

学校からの報告

◇令和5年度進路状況報告

・3 年生の進路は、就職希望者 19 名は全員内定をもらっている。スポーツメーカーのミズノや県外に 就職する生徒もいる。11 月 1 日以降は総合型選抜入試の結果も出てくると思うので、次回報告させ ていただく。

そういったことが定着して文化になれば素晴らしいと思う。

◇探究学習に関する報告

- ・1 年生の前期は、ソフトバンク社が提供する「AI チャレンジ」を実施した。これは、AI 活用人材を、 探究学習を通して育成するプログラムで、生徒が AI を使った社会課題の解決に取組み発表を行った。
- ・「みんなの SDG s 宣言発表会」という外部の発表会にも参加した。今後もそのような機会を増やしていきたい。
- ・ソフトバンク社との繋がりから総合探究科1年生は9月にソフトバンクグループで研修を行った。
- ・2 年生は「市役所プラン」を実施した。8 つのテーマから 1 つを選択し、富士市の課題について、 調査、分析、発表を行い、市役所、有識者の方々に提案をした。
- ・提案の中には LINE ボット(LINE 上で自動的にユーザーと対話するコミュニケーションロボット)

を使用したものもあり、昨年から始まった AI チャレンジの内容が提案にも活かされている。

- ・3 年生は今までの活動を振り返り、将来の自分をスピーチする「自分スピーチ」を行った。
- ・3 年生に究タイムに関するアンケートを実施したところ、「自分スピーチ」と「市役所プラン」が進路に大きな影響を与えたとの回答があった。
- ・学科研修について、総合探究科は1年生が産業能率大学、桐蔭横浜大学での研修、2年生がイング リッシュキャンプ、3年生が社会課題解決スタディツアーを行った。
- ・ビジネス探究科は1年生が物流、マーケティング研修、2年生が JAL 研修、3年生がインターンシップ研修を行った。
- ・スポーツ探究科は、1年生がカーリング研修、2年生がキャンプ実習、3年生が富士登山を行った。
- ・教員について、京都の堀川高校、神奈川の横浜国際高校へ研修、視察を行った。他校からも埼玉県立児玉高校が視察で来校、今後も埼玉県立秩父高校、福井県立丹生高校、鯖江高校、福岡県立筑紫高校、名古屋市立西菱高校が視察の予定。

◇各学科研修に関する報告

①総合探究科

- ・1 年生は、コロナも下火になり何年かぶりの宿泊研修を行った。初日はソフトバンク本社、ヤフー、ヤフーロボティクス、LINE の4つのグループに分かれて最先端の AI 技術やそういった環境に今後 どのように対応していくかについて研修を行った。2 日目は、自由が丘にある産業能率大学で、自由が丘の街を散策して、富士市の活性化につなげるワークショップ、3 日目は桐蔭横浜大学で大学の授業を体験した。
- ・研修で訪れた大学の中で、卒業生がリーダー的な役割をしており活躍していた。
- ・2 年生は、校内で 3 日間、外国人の講師に来ていただいて英語をブラッシュアップした。
- ・3年生は、社会課題解決ツアーを関東圏で行い、食品ロス、国際交流、LGBT、ホームレスの問題について、現地を訪れ、プレゼンを行った。
- ・2 年生の国内代替研修については、前年と同様に大分県の立命館アジア太平洋大学、別府市内、福岡市内でのフィールドワークを予定している。

②ビジネス探究科

- ・1 年生は、アーク監査法人による会計研修、伊藤忠食品による物流研修、証券協会による証券研修、 トヨタカローラ静岡によるマーケティング研修を校内で行った。また、校外では伊藤忠食品の工場 見学、クリクラの工場見学を行った。
- ・2 年生は、羽田空港で日本航空の訓練施設や、普段は見えない裏方の仕事などを体験した。併せて 国内代替研修用の歴史の研修、産業の研修も行った。
- ・3 年生は、富士商工会議所の青年部の協力によりサマーインターンシップを行い、生徒には経営理念や仕事をする上で何が大事なのかを感じ取ってもらった。
- ・2 年生の国内代替研修については、昨年と同様に長崎県と福岡県で長崎スタジアムシティプロジェクトやハウステンボスでの経営再建について研修を行う予定。

③スポーツ探究科

- ・1年生は、昨年と同様に山梨でカーリング研修を実施した。
- ・2 年生は、富士宮の富士キャンプビレッジで 1 人キャンプ、グランピングなどを意識したキャンプ 研修を行った。
- ・3年生は、富士登山を行った。全員が登頂に成功し、無事に下山することができた。
- ・2 年生の国内代替研修については、昨年と同様に海上保安庁研修、マリンスポーツ、島巡りを沖縄で行う。
- ・カーリング、キャンプ、登山、マリンスポーツと色々な経験をすることで、引き出しの多い生徒を 育成していきたい。

学校からの報告に対する質疑応答

(回答) ・富士宮口から登り、9 合目で頭痛になった生徒もいるが、誰一人脱落することなく登頂できた。

(意見・質問等) ・サポート体制はどうだったか?

(回答) ・ネイチャーガイドの方が経験豊富で、生徒の様子を見ながらゆっくりと登ってくれた。 おかげで大きく体調を崩す生徒もなく登りきることができた。

・集中研修は、非常に良いと感じた。特にスポーツ探究科は部活動だけではなく、海や 山にも行って体験ができるのは貴重なことだと思う。

(意見・質問等) ・2 年生の市役所プランについて、中学校でも街の課題を解決する取組を行っているが、中学校との違いはどんな部分か?また、自分事にしていくための工夫はあるか?

(回答) ・中学校の場合はとりあえずやらせるというか、試作品をつくるなど形になることが大事だと思う。高校の場合は、ターゲットであるとか誰に対してそれをどうするかといった視点も指導している。中高の連携を考えると、高校での学びは、課題の設定であるとか、誰に対してやるかといった点を深く掘り下げてやるのが良い。

(回答) ・自分事として捉えるのは中々難しい。2 年生に取ったアンケートでは、「富士市の課題を知ることができた」、「富士市の魅力に気づいた」などがあり、社会貢献をしたい力は強まっていると感じている。すぐには自分事として捉えることはできないかも知れないが、将来を通して自分事にしてくれたら一番良いと思う。

・学科ごとの研修後の生徒の変化はどうだったのか?個別性という点で今後の可能性についてもお聞きしたい。

(回答) ・すぐに変化が表れるかと言ったらそうではないが、大学であるとか進路を選ぶ1つの きっかけになっているのは大きい。課題解決や富士市に貢献したいということを念頭 に大学や仕事を選んでいる生徒が増えてきている。

・会計研修を受けて、会計士や税理士になりたいなど、色々な職業の方に触れることで将来の選択肢がより見えてくるというのは感じる。3年生については、インターンシップの事前のアポイントや事後の報告書の作成などを通して自分たちの選択や責任感が持てるようになってきた。

・研修を重ねることで、生徒の表情も変わって生活の過ごし方そのものが円満になったり、生徒間、教員との関係も上手く回り始めた感触があり、非常に有用だったと感じる。

(意見・質問等)

・オープンスクールや一日体験入学の参加者はコロナ以前と比べてどうなのか?また、 来年度に向けて新しい取組はあるのか?

(回答)

- ・一日体験入学は、コロナ前は保護者含め800名程度参加していた。年によって波があるが、去年は640名程度、今年はそれより何十人か減ったが、そのあたりで落ち着いている。以前は中学校側で必ず2~3校は一日体験入学に参加するというのがあったため人数も多かったと考えている。
- ・申込みについては学校の HP から QR コードを使って申込みを行っている。スマホで申込みができるので中学生が申込みやすくなっている。体験の内容についても生徒が考えてくれている部分もあり、学校紹介を工夫して行っている。

次回日程について

閉会